



平成 22 年度 兵庫県立大学公開講座

災害発生時の悲劇を繰り返さないために何をなすべきか？

災害時要援護者支援を地域で進めていくための技術とその応用

最近、カーナビ(カーナビゲーション・システム)をはじめとして、電子地図を利用する情報システムが我々の身の回りでも活用されるようになってきました。このカーナビのように電子地図を利用する情報システムは GIS (Geographic Information Systems : 地理情報システム) と総称されていますが、本公開講座では、GIS を利活用して、災害発生時に犠牲者となりやすい「災害時要援護者」の方々をいかに支援していくかをテーマとして、災害発生時の悲劇を繰り返さないような地域づくりを受講生の皆さんと一緒に考えていきます。

ところで、GIS を利活用するには、PC などのハードウェア、GIS のソフトウェア、デジタル地図とも呼ばれる電子地図、住所のある個人や企業などの組織のデータ、が必要になります。最近では、ハードウェアとソフトウェアの価格が大きく低下し、総務省や国土交通省などの官公庁からは、電子地図として利用できる行政界のデジタル地図に加えて航空写真や 2 万 5 千分の 1 の地形図、さらには行政界別の国勢調査や事業所・企業統計などのデータが公開され、インターネットからのダウンロードができるようになっています。

一方で、個人情報保護の壁に阻まれてなかなか進まなかった災害時要援護者を支援するための要援護者リストについては、多くの自治体でリスト作成作業が進みつつあります。しかし、リストを用意しただけでは何の意味もありません。要援護者の方々がどこに居住されておられるか、そして災害発生時のそれぞれの居住場所の安全性はどうか、さらに避難が必要な場合には近隣の誰が避難活動を支援するかを決めておかなければ、要援護者の支援は画餅にしかすぎないことになり、悲劇が繰り返されてしまいかねません。

本公開講座では、GIS の利活用が低コストで容易になった環境のもとで、実際に GIS を操作しながら、要援護者の居住場所を電子地図上にプロットする方法、国勢調査データに基づいて大字・町丁目別に要援護者となりうる高齢者の比率を色分けして表示させる方法、要援護者の居住場所の安全性を確認するためにハザードマップと電子地図を重ね合わせて表示させる方法、地図上に表示された要援護者からさらに条件を絞って検索する方法、などを実習し、その過程で災害時要援護者支援として地域で何ができるかを考えていきます。

受講対象者としては、地方自治体で企画・危機管理・福祉などの部局に所属されている方、自治会や自主防災組織で地域の安全を考えておられる方などを想定していますが、利用目的を問わず GIS の活用に興味のある方であればどなたでも受講を歓迎します。また、災害には、感染症の発生(パンデミック)を含めて考えます。

なお、本公開講座では、技能的にはエクセルとワードの基本操作ができる方を対象とし、ソフトウェアとしては、「地図太郎」(<http://www.tcgmap.jp/>) と ArcGIS (<http://www.esri.com/products/arcgis/>) を利用の予定です。

日時と内容

第 1 回：平成 22 年 8 月 21 日(土) 09:30 - 15:30 (11:45 - 12:45 昼食休憩)

午前：講義と実習 (旧新宮町と三木市での取り組み事例の紹介、GIS で何ができるかの実習)

午後：実習 (背景地図の読み込みと重ね合わせ、地区別高齢化状況などの主題図の作成)

第 2 回：平成 22 年 8 月 22 日(日) 09:30 - 15:30 (11:45 - 12:45 昼食休憩)

午前：実習 (要援護者リストから個々の要援護者の居住地点を地図上に表示、条件を設定して検索)

午後：実習と講義 (GIS を活用しての要援護者支援における地域課題を発見と課題解決の要点解説)

場 所 兵庫県立大学神戸キャンパス 情報処理室

講 師 大学院応用情報科学研究科 教授 有馬 昌宏

受 講 料 5,800 円

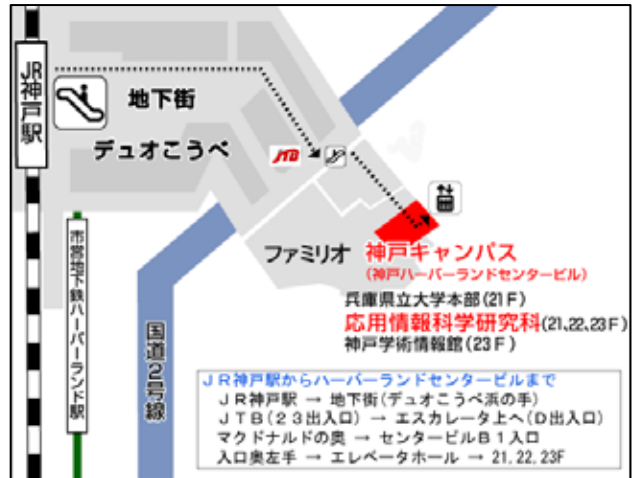
申込期限 平成 22 年 6 月 21 日(月) ~ 平成 22 年 8 月 6 日(金)(定員 10 名)

募集概要

- コースの名称： 「災害発生時の悲劇を繰り返さないために何をなすべきか？」
 災害時要援護者支援を地域で進めていくための技術とその応用」
- 会場： 神戸市中央区東川崎町1-3-3
 神戸ハーバーランドセンタービル 23階（JR神戸駅から徒歩5分）
 兵庫県立大学神戸キャンパス 情報処理室
- 日時： 平成22年8月21日（土）・8月22日（日） 計2回
 いずれも 9:30 - 15:30（途中11:45 - 12:45 昼食休憩）
- 募集人数： 10名
- 受講料： 5,800円
 なお、納付された受講料は、受講されない場合でもお返しできませんのでご了承ください。
- 募集期間： 平成22年6月21日（月）～平成22年8月6日（金）【必着】
- 応募方法： 受講申込書または必要事項を応用情報科学研究科事務室（下記問合せ先）まで、
 電子メール・郵送・FAXのいずれかの方法でご送付下さい。（先着順受付）
- 受講料支払方法： 受講が決定された方は、受講料を8月13日（金）までに郵便普通為替証書
 （平成22年7月以降に発行されたもので何も記入せずに）にて郵送下さい。
 現金でお送り頂く場合には、現金書留でお送り下さい。
- 問合せ先： 兵庫県立大学 大学院応用情報科学研究科 事務室
 〒650-0044
 神戸市中央区東川崎町1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル21階
 電話：078-367-8616（事務局 直通） FAX：078-362-0650
 電子メール gsai@ai.u-hyogo.ac.jp



講座で作成可能になるハザードマップの一例



平成22年度 兵庫県立大学公開講座 「災害発生時の悲劇を繰り返さないために何をなすべきか？」 受講申込書			
ふりがな 氏名		申込日	平成22年 月 日
年齢・性別	歳	男・女	
住所	〒 電話() -		
e-mail			
職業 (で囲む)	会社員 公務員 教員 自営業 学生 家事専業 その他()		
事務局 記入欄			